長野県教育文化会議発第22号　整理第280号

2018年11月7日

教文会員　　　様

教文委員　　　様

支部教文部長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長野県教育文化会議

議長　寺尾　真純

**第5回総合研究会参加について（依頼）**

初霜の候　皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのことと存じます。

第5回総合研究会を下記日程で開催しますのでご参加ください。2016年「18歳選挙権」導入により、主権者教育、政治教育の重要性が再認識されました。現在まで主権者市民教育は創造的で主体的な教育実践を通じすべての教科、あらゆる場面で実践されてきました。今回の総研では県内と和歌山県の「地域と学校づくり」関する報告と、「三者協議会」の立ち上げの報告を伺い学びます。

2018年度最終の総合研究集会ですので奮ってご参加ください。

記

１．日時　2018年12月15日（土）　9：30受付　　9：50開会　15:30終了予定

２．会場　塩尻市総合文化センター205会議室

（〒399-0738 長野県塩尻市 大門七番町４−３　[電話](https://www.google.co.jp/search?q=%E5%A1%A9%E5%B0%BB%E7%B7%8F%E5%90%88%E6%96%87%E5%8C%96%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC+%E9%9B%BB%E8%A9%B1&ludocid=2426505091674146897&sa=X&ved=2ahUKEwjuobiHr7_eAhXJdd4KHSJlAVkQ6BMwEnoECAwQBw)：0263-54-1253）

３．内容

　(1) 実践報告１．　江原一幸さん　（元明科高校、現佐久平総合技術高校）

　　　テーマ　「学校を変える　地域を変える　生徒会活動」

(2) 実践報告２．　坂口俊夫さん（小諸高校）

　　　　　　　テーマ「三者協議会の立ち上げにあたって」

　　　　　　(3) 実践報告３．　横出加津彦さん　（和歌山県立粉河高校）

　　　　　　　　　　 テーマ「和歌山県立粉河高校・ＫＯＫＯ塾」～ほんまもんの学びを地域とともに～

　教文委員のみなさんへ

(1) 学校長への依頼文

　　高校教育課との確認メモにもとづく、学校長宛依頼文を同封しています。メモでは「総合研究会は教育公務員特例法に基づく研修として認めることができる。」となっています。学校長の裁量により学校出張が可能です。研究会依頼文（学校長宛）を学校長にお渡しいただき、学校出張での参加を要請してください。

(2) 日程・会場および内容

　　詳細は別添のチラシをご覧ください。会員の皆さんにもお渡しください。

(3) 参加依頼　(各校１名)

　　今総合研究会はすべての学校に関わる教育課題ですので各校からの参加をお願いします。

(4) 参加者の報告について

校内の参加希望者を取りまとめていただき、裏面の参加申込書で参加者をお知らせください。学校出張旅費支給の可否も併せてご報告ください。教文会議からの旅費が必要な方には準備をします。

ＦＡＸ　　０２６－２３４－２２１９

長野県教育文化会議あて

第5回総合研究会　参加申込

学校名　　　　　　　　　　報告者（　　　　　　　　　）

参加者名　　　　　　　　　　　　　　（学校出張 [ ]）

参加者名　　　　　　　　　　　　　　（学校出張 [ ]）

参加者名　　　　　　　　　　　　　　（学校出張 [ ]）

（「学校出張旅費あり」の場合には、〇を記入して下さい）

　　〆切　１２月７日（金）

発信元　　長野県教育文化会議

　　　　　〒380-8790　長野市県町　593

ＴＥＬ　　　０２６－２３４－２２１６

ＦＡＸ　　　０２６－２３４－２２１９

担当者　　　　　　内堀守・河西綾

E.-mail 　　kyobun.nagano-h@educas.jp

2018年11月7日

2018年度　長野県教育文化会議　第５回総合研究会

**「主権者って何だ？」**

**～学校づくり・地域づくり～民主主義の担い手として～**

2016年に「１８歳選挙権」が導入されたのと同時に、生徒の政治活動は制限され、教師の政治的中立性ばかりが強調されました。一方、学校でこそ「主権者教育」はすべき、という前提で選挙管理委員会が学校に赴いて「選挙にいく」ための模擬投票が実施されました。その直後にあった夏の参議院選挙では、マスコミをはじめ多くの大人たちが、若者の投票率の動向に一喜一憂したのも記憶に新しいところです。

　 あれから2年。マスコミが取り上げることも少なくなり、社会全体の関心も薄れたように思います。「主権者教育」は単なるブームだけに終わってしまったと言ったらいいすぎでしょうか。

何より、学校現場において私たち教師は、今の社会を生きる「当時者」として、「民主主義の担い手」として、「主権者」を育てるという意識が、希薄になってはいないでしょうか。

憲法が変えられようとしている今こそ、主権者教育の目的は、自分たちが生きる社会や地域を作っていく「民主主義の担い手」を育てるためにある、という原点に立ち戻って議論を深めたいと考えます。

**１. 期　日　　　12月15日（土）**

**２. 会　場　　　塩尻市総合文化センター　205会議室**

**３. 時　程 受　付　　　　　　　　　　　　　 ９：３０～ ９：５０**

 **議長挨拶・課題提起 　　 ９：５０～１０：００**

**実践報告①　「学校を変える 地域を変える 生徒会活動」１０：００～１１：３０**

 **江原一幸 さん（元 明科高校、現 佐久平総合技術高校）**

地域であまり評判がよいとは言えなかった学校が、地域と協力して地域づくりを進める中で

生徒が変わり、学校も大きく変わっていったという実践です。生徒と一緒に制作した「原発

問題」のビデオも含めて報告していただきます。

**実践報告②　「三者協議会の立ち上げにあたって」　　　 １１：３０～１２：００**

 **坂口俊夫　さん（小諸高校）**

小諸高校でも新たに「三者協議会」が立ち上がりました。そのいきさつを含めてお話をお聞

きします。

 **質　疑 １２：００～１２：１５**

 **昼　食 　　　　　１２：１５～１３：１５**

 **実践報告③　「和歌山県立粉河高校・ＫＯＫＯ塾」～ほんまもんの学びを地域とともに～**

**１３：１５～１４：４５**

**横出加津彦　さん（和歌山県立粉河高校）**

17年も前から周囲の大人たちと協同 して学び合い、地域づくりを進めている和歌山県粉河

高校「ＫＯＫＯ塾」の実践をわざわざ遠方より来ていただき報告してもらいます。

**質　疑 １４：４５～１５：００**

 **休　憩　　　　　　　 　　　　　１５：００～１５：１０**

 　　　　　　**総括討論　　　　　　　　　　 　１５：１０～１５：３０**